



平成26年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年12月27日

上場会社名 株式会社アダストリアホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 2685 URL http://www.adastria.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 洋一  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営戦略部長 (氏名) 新谷 亮 (TEL) 03-6895-6000  
 四半期報告書提出予定日 平成26年1月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第3四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	105,151	23.6	5,369	△26.0	5,494	△25.9	2,296	△45.6
25年2月期第3四半期	85,092	4.2	7,259	△19.7	7,412	△19.1	4,222	△23.6

(注) 包括利益 26年2月期第3四半期 3,896百万円(△16.3%) 25年2月期第3四半期 4,658百万円(△12.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第3四半期	102.21	102.19
25年2月期第3四半期	182.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第3四半期	100,295	52,153	52.0
25年2月期	63,410	38,598	60.9

(参考) 自己資本 26年2月期第3四半期 52,146百万円 25年2月期 38,598百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	50.00	—	70.00	120.00
26年2月期	—	50.00	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	70.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	157,900	29.8	10,100	3.9	10,300	3.5	4,900	△11.0	213.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 3社 (社名) 株式会社ポイント、株式  
 株式会社トリニティアーツ、除外 1社 (社名)  
 株式会社NATURAL NINE

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年2月期3Q	24,400,000株	25年2月期	24,400,000株
26年2月期3Q	117,208株	25年2月期	2,657,885株
26年2月期3Q	22,469,575株	25年2月期3Q	23,169,150株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 「参考」個別業績予想

平成26年2月期の個別業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,500	△50.0	4,900	△47.0	5,100	△47.1	3,100	△43.0	135.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
(1) 店舗業態・地域別出退店の状況	10
(2) ブランド・地域別売上高の状況	11
(3) 商品部門別売上高の状況	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成25年3月1日から平成25年11月30日まで）におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融緩和の効果などから、企業収益は大企業を中心に改善が進み、設備投資に持ち直しの動きが見られるなど、景気は緩やかに回復しつつあります。また先行きにつきましては、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要が見込まれております。

当社グループの主要ブランドが属するカジュアルウェア市場におきましては、個人消費の持ち直し傾向を背景に一般的に堅調に推移したものの、今秋は記録的な高温に加え台風の上陸などの天候不順により不安定な状態が続きました。

このような環境のもと、当社は、平成25年9月1日付で当社を株式交換完全親会社、株式会社トリニティアーツを株式交換完全子会社とする株式交換を実施し、株式会社トリニティアーツを当社の100%子会社といたしました。

同時に、当社を分割会社とし、当社の100%子会社である株式会社ポイント（新ポイント社）を承継会社とする会社分割（吸収分割）を実施するとともに、経営管理事業を除く一切の事業に関する権利義務を株式会社ポイント（新ポイント社）に承継させ、当社グループは持株会社体制に移行いたしました。なお、同日付で、当社は、株式会社ポイントから株式会社アダストリアホールディングスに商号変更いたしました。

主にナチュラルテイストのファッションブランドを多数展開する株式会社ポイント（新ポイント社）、衣料品・服飾雑貨・生活雑貨等を扱うライフスタイル提案型ブランドを有する株式会社トリニティアーツという2つの小売グループと、第2四半期連結会計期間において連結子会社化いたしました、優れたテキスタイルデザインや商品デザイン機能を持ちアジア各国に拠点を持つ株式会社NATURAL NINEが統合することにより、幅広い顧客層と独自の商品企画機能を持つ企業グループを構築いたしました。

また、同時に持株会社体制に移行することにより、各社の成長力を支える事業基盤及び企業文化を尊重・維持しつつ、サプライチェーンや情報システム、管理面等のシナジー効果を最大限に発揮することが可能となる他、M&Aを含めたブランドポートフォリオの強化や海外展開の拡大が可能となります。

店舗展開につきましては、株式会社トリニティアーツの連結子会社化により、同社及びその子会社の245店舗（内、海外3店舗）が新たに増加したほか、当社グループは引き続き積極的な出退店を実施しており、118店舗の出店（内、海外17店舗）、47店舗の退店（内、海外21店舗）の結果、当第3四半期連結累計期間末時点における当社グループの全店舗数は、1,215店舗（内、海外75店舗）となりました。

売上高につきましては、株式会社トリニティアーツの連結子会社化により、前年同期比で23.6%の増加となり、大きく伸長しております。ブランド別では、「グローバルワーク」、「レプシムローリーズファーム」、「ニコアンド」、「スタディオクリップ」が好調に推移しております。

販売費及び一般管理費につきましては、株式会社トリニティアーツ及び株式会社NATURAL NINEの連結子会社化に伴うのれんの償却や株式会社トリニティアーツにおいて積極的な広告宣伝を実施したことの影響などから、販管費率は53.0%（前年同期比1.4ポイント上昇）となりました。

また、特別利益として、株式会社NATURAL NINEの連結子会社化に伴う段階取得に係る差益2億2百万円、特別損失として、店舗の減損損失1億13百万円をそれぞれ計上しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,051億51百万円（前年同期比23.6%増）、営業利益は53億69百万円（前年同期比26.0%減）、経常利益は54億94百万円（前年同期比25.9%減）、四半期純利益は22億96百万円（前年同期比45.6%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、368億84百万円増加して1,002億95百万円となりました。これは主に、有価証券(コマーシャルペーパーと国庫短期証券)が64億99百万円減少し、たな卸資産が101億89百万円、のれんが158億68百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて、233億29百万円増加して481億42百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が69億28百万円、短期借入金が105億71百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて、135億54百万円増加して521億53百万円となりました。これは主に、株式交換により資本剰余金が44億68百万円増加し、自己株式が77億83百万円減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年9月30日に公表いたしました通期の連結業績予想を変更しておりません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社は、平成25年6月4日付で当社を株式交換完全親会社、株式会社NATURAL NINE HOLDINGSを株式交換完全子会社とする株式交換により株式会社NATURAL NINE HOLDINGSの議決権の100%を取得し、同社及びその子会社である4社（株式会社NATURAL NINE、株式会社CROSS BORDER及び他2社）を第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。なお、平成25年8月31日付で株式会社NATURAL NINEを存続会社とし、株式会社NATURAL NINE HOLDINGS及び株式会社CROSS BORDERを消滅会社とする合併を実施しております。

また、平成25年9月1日付で当社を株式交換完全親会社、株式会社トリニティアーツを株式交換完全子会社とする株式交換により株式会社トリニティアーツの議決権の100%を取得し、同社及びその子会社4社を当第3四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。同時に、当社を分割会社とし、平成25年4月4日付で会社分割を行うための準備会社として設立しておりました当社の100%子会社である株式会社ポイント（新ポイント社）を承継会社とする会社分割（吸収分割）を実施するとともに、経営管理事業を除く一切の事業に関する権利義務を株式会社ポイント（新ポイント社）に承継させ、当社グループは持株会社体制に移行しております。なお、同日付で、当社は、株式会社アダストリアホールディングスに商号変更しております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び一部の国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産（店舗内装設備を除く。）について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,849	12,673
受取手形及び売掛金	4,829	11,523
有価証券	6,499	—
たな卸資産	7,749	17,939
その他	2,296	3,019
貸倒引当金	△34	△80
流動資産合計	33,190	45,075
固定資産		
有形固定資産		
店舗内装設備(純額)	5,933	9,453
その他(純額)	5,061	5,363
有形固定資産合計	10,994	14,816
無形固定資産		
のれん	1,797	17,666
その他	812	1,241
無形固定資産合計	2,609	18,908
投資その他の資産		
敷金及び保証金	11,306	14,144
その他	5,513	7,548
貸倒引当金	△204	△197
投資その他の資産合計	16,616	21,494
固定資産合計	30,220	55,220
資産合計	63,410	100,295
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,909	20,838
短期借入金	508	11,079
1年内返済予定の長期借入金	235	275
未払金	5,581	9,121
未払法人税等	2,378	2,020
賞与引当金	1,212	1,384
役員賞与引当金	51	58
その他の引当金	163	286
その他	191	925
流動負債合計	24,231	45,989



(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
固定負債		
社債	31	30
長期借入金	261	369
引当金	101	101
その他	187	1,652
固定負債合計	581	2,152
負債合計	24,812	48,142
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,660	2,660
資本剰余金	2,517	6,986
利益剰余金	40,826	40,530
自己株式	△8,188	△405
株主資本合計	37,816	49,771
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	792	2,063
繰延ヘッジ損益	7	107
為替換算調整勘定	△17	203
その他の包括利益累計額合計	781	2,375
新株予約権	—	6
純資産合計	38,598	52,153
負債純資産合計	63,410	100,295

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
売上高	85,092	105,151
売上原価	33,888	44,056
売上総利益	51,203	61,094
販売費及び一般管理費	43,943	55,724
営業利益	7,259	5,369
営業外収益		
受取配当金	51	60
受取家賃	—	53
保険解約返戻金	—	73
電力販売収益	—	30
その他	126	193
営業外収益合計	178	410
営業外費用		
支払利息	2	73
コミットメントフィー	10	8
為替差損	1	101
自己株式取得費用	7	20
その他	3	82
営業外費用合計	25	285
経常利益	7,412	5,494
特別利益		
固定資産売却益	18	—
段階取得に係る差益	—	202
特別利益合計	18	202
特別損失		
減損損失	78	113
投資有価証券評価損	13	—
特別損失合計	91	113
税金等調整前四半期純利益	7,339	5,583
法人税、住民税及び事業税	3,674	4,031
法人税等調整額	△526	△744
法人税等合計	3,148	3,286
少数株主損益調整前四半期純利益	4,191	2,296
少数株主損失(△)	△31	—
四半期純利益	4,222	2,296

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,191	2,296
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	417	1,271
繰延ヘッジ損益	4	100
為替換算調整勘定	45	228
その他の包括利益合計	467	1,600
四半期包括利益	4,658	3,896
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,684	3,896
少数株主に係る四半期包括利益	△25	—





